

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3451-5151

担当者の所属・氏名 乳腺外科 山下 祐司

【研究責任者】

聖路加国際病院 乳腺外科 林 直輝

乳房再建術を伴う乳癌の全摘術をした患者さんを対象とし、
乳頭乳輪を温存した方と、乳頭乳輪を温存せず摘出した方の
乳房局所再発率および生存率を比較・検討する研究。

1.研究の対象

2006年から2012年までに当院で原発乳癌と診断され、乳房再建術と乳頭乳輪温存乳腺切除術もしくは皮膚温存乳腺切除術をうけた方。

2.研究の目的・方法

同時乳房再建を伴う乳頭乳輪温存乳腺切除術が皮膚温存乳腺切除術に比べて劣らず安全に施行できる術式であるかの評価をすることを目的とします。各々の術式の再発率、生存率を比較します。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2020年12月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

《情報》 カルテ番号、年齢、病理診断結果、抗がん剤治療の治療歴、現在の治療内容 等

《試料》 なし